

第1回（7/8号）

水稻病虫害発生予察の結果について

今年も病虫害発生予察を行います。毎週火曜に巡回し、各地区の予察圃場を調査していきます。個人の圃場とは誤差もあると思いますが、管理の参考にして下さい。

① 生育状況

生育状況は、どの地区も概ね順調に生育しております。韮山地区は分けつ19～24本前後、江間地区では24～27本程度、長岡地区小坂、天野、大仁地区の神島では26～28本程度、大仁地区の白山堂では22本程度になっていました。大仁地区の田原野、浮橋では中干しに入っている圃場もみられました。

今年度については、6月の高温の影響もあり、県内全域で例年と比べ分けつが促進傾向にあります。今回の調査では中干し目安の20本を超えている圃場が多く見られたため、ご自身の圃場をご確認いただき、中干し時期をご検討ください。

② 病虫害状況

今回の予察では、ウンカ類及びヨコバイ類の発生はほとんど確認されませんでした。ジャンボタニシの発生が拡大しており、各所でジャンボタニシの発生が確認されています。ピンクの卵が見られた際には捕殺し、下記の薬剤等で成貝の数を減らす対策を検討下さい。

※卵には毒（成貝には寄生虫）があるので、素手で触れないようにして下さい。

○スクミノン粒剤（殺虫剤）1～4kg/10a 3,260/1袋（2kg）

※湛水状態で散布。散布後7日は落水しない

③ その他

ケイ酸カリの施用を予定している方は、下記の施用基準を参考に施肥を検討下さい。ケイ酸カリは倒伏防止や食味向上の効果が期待できます。

○ケイ酸カリ 20～40kg/10a 3,070円/1袋（20kg）

※出穂35～45日前が効果的。（中干しの1週間前が目安。）

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しております。